



市内循環バスの運行改善を求める陳情書

件名 市内循環バスの運行改善を求める陳情

要旨

市内循環バスは、4月からバス3台になり運行コースも大きく変わりました。ところが、旧南コース、旧北コースを利用していた市民が「利用できない」「却って不便になった」という人達が多くいます。利用者の声を反映し運行の改善を求めます。

理由

平成25年4月1日から北コース、中央コース、南コースの運行が行われていますが、「埼玉病院や総合福祉会館」などに乗り換えなしで行かれたものが、それができなく、駅や市役所での乗り換えは待ち時間も長く高齢者は利用が困難になっています。

また、「中央公民館や和光市駅方面」には、3月までの双方向の運行は利用できたものが、4月からは一方方向の運行に変わったため、利用できなくなっています。

市内循環バスの利用者は、高齢者が圧倒的に多く、また、女性が多く利用しています。共通しているのは、市内を移動するのに自家用車を使えない人達で、循環バスに対する依存度は非常に高いものがあり、愛着の度合いも強かった人達です。

どうか今までの利便性を無くさないで、高齢者を救ってください。
市内循環バスの運行本数を増やしてという要求の中で、バスが2台から3台になったことで、利用しやすくなった地域もありますが、バスが3台になったメリットを生かし、以前より不便になった地域については利用できるよう改善して下さいようお願いいたします。

以上の理由から、陳情するものです。

平成25年5月24日

和光市議会議長 菅原 満 様

陳情代表者

和光市白子2-5-24

和光市白子2-24-24-309

和光市白子2-22-19

山田真知子

菅野 正幸

遠藤 雅子

署名数 865